

# **オンラインZoomセミナー2021**

**学び方が変わると人生が変わる**

**2021年8月18日**

***Vision&Education,Ltd.***

# なぜ「気づき」が大切なのか

## ・「与えられたもの」

- ・ 頭につくのは「他人に～」
- ・ 受動的学び。
- ・ 忘れやすい。
- ・ 身につきにくい。
- ・ 応用できない。

## ・「気づいたもの」

- ・ 頭につくのは「自分で～」
- ・ 能動的学び。
- ・ 忘れにくい。
- ・ 自分のものになる。
- ・ 応用できる。

# 私の教育のあり方～気づきの教育～

- 「今日の講座で、私が感じたこと、気づいたこと、学んだこと（考えたこと）。」を言語化する。
- レポート（書く） & スピーチ（話す）。
- 同じテーマで繰り返し言語化していく。
- そのことを常に意識する態勢を築く。
- （アウトプットを前提としたインプット。攻撃的に聴く。）
- 自分の言葉で、自分自身を語る。 **そこで気づきが生まれる。**

# 気づく & 気がつく (辞書)

- 「気づく」

- 1. それまで気にとめていなかったところに注意が向いて、
- 物事の存在や状態を知る。
- 気がつく。「誤りに―・く」「忘れ物に―・く」

- 「気がつく」

- 1 そのことに考えが及ぶ。気づく。「まちがいに―・いた」
- 2 細かいところにまで注意がゆきとどく。「よく―・く人」
- 3 意識が回復する。正気にかえる。

# 「氣」 (辞書)

- 氣 (き、KI、Qi) とは、中国思想や道教や中医学 (漢方医学) などの用語の一つ。
- 一般的に氣は不可視であり、流動的で運動し、作用をおこすとされている。
- しかし、氣は凝固して可視的な物質となり、万物を構成する要素と定義する解釈もある。
- 宇宙生成論や存在論でも論じられた。
  
- 元氣、根氣、やる氣、病氣、氣のせい、本氣、短氣、氣長、etc. . . .

# それまで気にとめていなかったところとは？

- 1. それまで気にとめていなかったところに注意が向いて、
- 物事の存在や状態を知る。
- 気がつく。
- 「誤りに—・く」「忘れ物に—・く」

頭ではなく心の働き。  
理性ではなく、感性の働き。

- ①自分の言動を気にとめていなかった。
- ②他人の言動を気にとめていなかった。
- ③自分と他人の関係性を気にとめていなかった。
- ④自分と他人を取り巻く環境を気にとめていなかった。
- ⑤自分と他人の行動の目的を気にとめていなかった。

# なぜ人は気づけないのか

- 1. 知識・経験が不足している。
- 2. 想像力が不足している。
- 3. 相手の立場に立つ力が不足している。
- 4. 五感で感じる力が不足している。
- 5. 細かく見る力が不足している。
- 6. 全体感を持つ力が不足している。
- 7. 先を読む力、同時に複数のことを考える力が不足している。
- 8. 自分の言動を客観視する力が不足している。

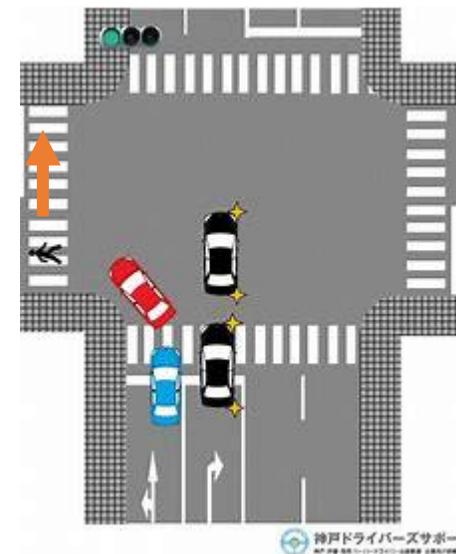
• 気づくことの大切さに気づいていない

# **1. 知識・経験が不足している。**

- (1) マナーの知識がないから、失礼な振る舞いに気づけない。  
(勇気がない、自分に自信がないから謝れない。)**
- (2) 料理の知識が不足しているから、美味しく作る方法に気づけない。作ってくれた人の心遣いに気づけない。**
- (3) 知識が不足しているから、志の大切さ、学びの楽しさに気づけない。**

## 2. 想像力が不足している。

- (1) 横断歩道をゆっくり歩いて渡る人。  
待たせていることに気づかない。
- (2) 車道を逆走してくる自転車。  
相手に不安を与えていることに気づかない。



五感で感じ取る力  
も欠落している。



# 横断歩道を赤信号ギリギリで渡ることの意味

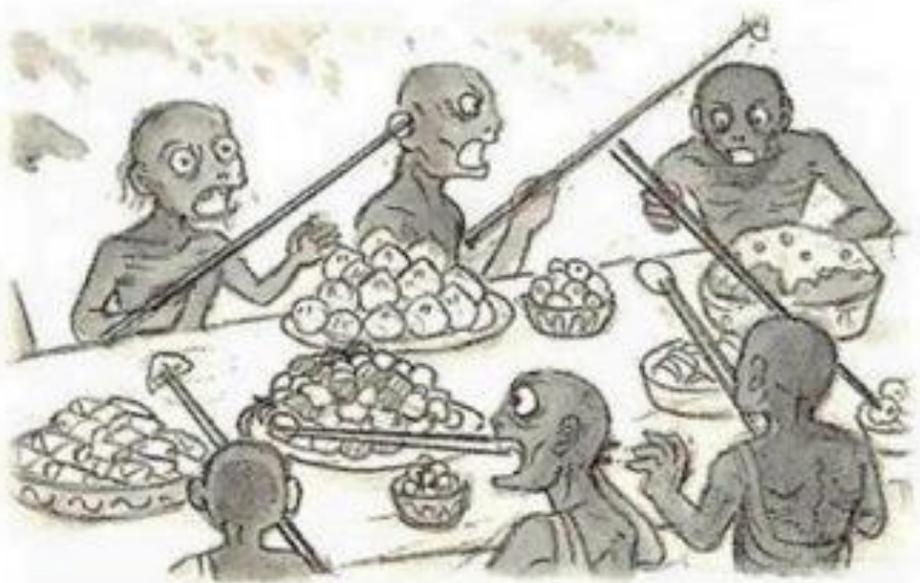
- **1. 周囲に不安や不快感を与えていることに気づいていない。**
- **2. 自分さえ良ければ良い。他人の心配に気づけない。または、余計なお世話と  
思う。**
- **3. そうした心の習慣が同じ人たちを引き寄せている。**
- **4. 常に自分さえ良ければという意識が勝る空間に身を置くことに。**
- **5. 完全に車もない見通しの良い所はどうか。**
- **信号を必要以上に守ることで信頼感、安心感のある社会になっている。**

自分さえよければでは幸せになれません。一人ぼっちになっ  
てしまいました。

幸せの花は、相手(他)と自分との間に咲く花です。

地獄

極楽



# 3. 相手の立場に立つ力が不足している。

- (1) 狭いキッチンで数名で仕事をする。
  - a. 主たる作業者が、次に何をしようとしているかに気づける人。
  - b. 自分がしようと思ったことをやる人。
- (2) コピー用紙が自分のところではなくなった。
  - a. 次に使う人のことに気づける人＝コピー用紙を補充する。
  - b. 自分のところまであって良かった、ラッキーと思う人。
- (3) 時間について
  - a. ぎりぎりに来る人（準備、段取りを考えていない。主催側に立たない。）
  - b. 時間に余裕を持って来る人（準備、段取りを考えている。主催側に立つ。）
- (4) お見送りについて
  - a. 見えなくなるまで見送られていることに気づく人。（相手優先）
  - b. 見送られているのにそれにこたえない人。（自分優先）

## 4. 五感で感じ取る力が不足している。

- **(1) タイミングの大切さに気づけない。**
- **熱いものは熱いうちに。冷たいものは冷たいうちに。**
- **麺はのびないうちに。**
- **食事を提供する側の「思い」を踏みにじる。**
  
- **(2) 違いに気づけない。**
- **お櫃のご飯。ジャーのご飯。**
- **ぬか漬（化学調味液漬）**
- **わさび**

- やったことがないことはわからない。
- 経験値が高くないとわからない。

## **5. 細かく見る力が欠落している。**

- **(1) 茶碗の汚れに気づかない**
  - **(2) 床に落ちているゴミやほこりに気づかない。**
  - **(3) 照明の効果、音楽の効果、香りの効果に気づかない。**
- **日頃の心構えとして何を見、何を感じているか。**

## 6. 先を読む力、同時に複数のことを考える力が不足している。

- 「お客様いらっしゃるから、テーブル拭いといて。」と言われたら
- 何をするか。

### • (1) 来客に際して

- ①玄関の掃除、花を生ける、香り、スリッパを出す。
- ②湯茶接待（飲み物は何を？お茶菓子は？）
- ③部屋（掃除、換気、花、香り、室温、湿度、照明、  
アクリル板、アルコール、おしぼり、その他）
- ④資料の準備（目的は？そのために必要な資料は？）
- ⑤お手洗い（掃除、香り、トイレットペーパー、蓋）
- ⑥お土産（品物だけでなく、情報、気分）
- ⑦お見送り（スリッパ、靴べら、どこまで見送るか）

## **7. 自分の言動を客観視する力が不足している。**

- 「そんなつもりで言ったんじゃない。」（「人はいつか死ぬ」）
- 「そんなつもりはない」（えらそうな態度）
  
- (1) 相手の状況を理解できていたか。
- (2) 自分責任論者、相手責任論者では、気づく範囲が変わる。
- (3) 自分の立ち位置はどこか。（責任者、一担当者、客）
- (4) 言葉の格と品位。
-

# なぜ人は気づけないのか

- 1. 知識・経験が不足している。
  - 2. 想像力が不足している。
  - 3. 相手の立場に立つ力が不足している。
  - 4. 五感で感じる力が不足している。
  - 5. 細かく見る力が不足している。
  - 6. 全体感を持つ力が不足している。
  - 7. 先を読む力、同時に複数のことを考える力が不足している。
  - 8. 自分の言動を客観視する力が不足している。
- ・ 気づくことの大切さに気づいていない
- 人間性、利他の心、真善美、志、根っ子が育たないと気づけない。

枝・葉・・・知識・スキル

習得する

見える

光・雨・風

果実・・・仕事の成果

幹・・・インプット・アウトプットの力  
(聴く・読む・書く・話す)

見えない

水・養分

考える

良樹細根、大樹深根

根・・・価値観 (人生観 (志) ・人間観・死生観・世界観・仕事観・教育観・プリンシプル)  
教 養 (自然・歴史・文化・芸術、時事問題、その他)



↑ JOTUN





# 縁に気づく大切さについて

- 1. 人との出会いに気づく。
- 2. 本との出会いに気づく。
- 3. 体験の意味に気づく。

# 柳生家家訓

- 小才は、縁に出合って縁に気づかず。
- 中才は、縁に気づいて縁を生かさず。
- 大才は、袖すり合った縁を生かす。

• 柳生宗矩「やぎゆう・むねのり」の言葉。

• (江戸時代初期の武将、柳生新陰流の剣術家、1571〜1646)

- 人間は一生のうちに逢うべき人には必ず逢える。
- しかも一瞬も早過ぎず一瞬も遅過ぎないときに。
- しかし、内に求める心なくば、眼前にその人ありといえども縁は生じず。

• 森信三先生の言葉

# 気づく力

- **真・善・美に気づく力が大切。**
- **そのために学ぶことが大切。（真・善・美とは何か）**
- **何のために学ぶのかという目的意識（志）が大切。**
- **どのような生き方をするのかというプリンシプルが大切。**



- ・ プリンシプル（原理・原則）を心に刻む。
- ・ 価値判断の基準を持つ 〓 何が美しいかを知る。

・ バツカーズ少年教育10 原則

- ・ 一、ウソごまかしをしない。誰が見ていなくても「お天道様」が見ている。
- ・ 二、自己責任とは。人のせいにはしない。自分の判断力と決断力を持つとう。
- ・ 三、よく働き、よく学び、よく遊ぶ。よい競争心を持つとう。
- ・ 四、感謝心を持つとう。
- ・ 五、人に迷惑をかけない。良いマナーを持つとう。
- ・ 六、自分に厳しく、人に寛大に。  
（その逆の、自分に甘く人に厳しい人は本当にカッコ悪いよ。）
- ・ 七、人のためになろう、国のためになろう、世界のためになろう。
- ・ 八、いつもユーモアの心を持つ。
- ・ 九、人をタイトルや外見や名前や住んでいるところで見るとはなく、いつもその本人で見よう。本物とは何のことか考えよう。
- ・ 十、国際人とは何かを考えよう。自分の国を愛し、他の国の人も本当の友達になれ、他人のことも考えられることが国際人だ。

# 受講に際してのお願い

- **1. アウトプット（話す・書く）を前提としたインプット（聴く・読む）を。**
- できれば、30分間は、皆様とのやりとりをしたいと考えています。
- **2. アンケートにご協力下さい。**
- 書式は問いません。
- 私宛てのメッセージとして、また、ご自身の振り返りとして、お願い致します。
- いただいたメッセージには、必ずお返事を致します。

# 学び方について考えてみる

枝・葉・・・知識・スキル

習得する

見える

光・雨・風

果実・・・仕事の成果

幹・・・インプット・アウトプットの力  
(聴く・読む・書く・話す)

見えない

水・養分

考える

良樹細根、大樹深根

根・・・価値観 (人生観 (志) ・人間観・死生観・世界観・仕事観・教育観・プリンシプル)  
教養 (自然・歴史・文化・芸術、時事問題、その他)



# 私たちビジネスパーソンの土台は何か

1. 聞き流す
2. 読まずに眺める
3. 話したくない
4. 書きたくない
  - ・ 自分中心
  - ・ 他人事
  - ・ 意見がない

社会人になって  
身に付けていくこと

学校教育で身についたこと  
 $6 \cdot 3 \cdot 3 = 12$ 年間

家庭で身についたこと

- ・ 36歳の人では  
人生の  $1/3$
- ・ 常に今に影響し  
ている。
- ・ 過去ではない。

# 学び方が変わると人生が変わる

- 第1講座 「志の大切さに気づく力」を育む 2021, 8,18
- 第2講座 「気づく力」を育む 2021, 9,1
- 第3講座 「利他の心」を育む 2021, 9,15
- 第4講座 「自分らしく生きる力」を育む 2021, 9,29
- 第5講座 「自分を支える言葉の力」を育む 2021,10,6
- 第6講座 「行動する力」を育む 2021,10,20
- 第7講座 「文化の大切さに気づく力」を育む 2021,11,17
- 第8講座 「感謝心」を育む 2021,11,24
- 第9講座 「講座全体の振り返り」 2021,12,1

• 約3ヶ月のコース。